

函館山の麓、西部地区がらまちづくりと一緒に！

# はこまち通信 クーポラ

2023.1

vol. **63**

第18回NPOまつり  
「食とコミュニティ」を  
開催しました！ (詳細はP2~)



まちづくりセンター公式  
YouTubeチャンネル ▶



ゲストのみなさん(左より) 筒井 章順さん、高野 信子さん、中森 司さん(まちづくりセンターにて)

## Contents

Cupola Vol.63

- 特集 第18回 NPOまつり ..... P2
- オンライン移住セミナー開催 ..... P4
- 一緒に応援しませんか？ 市民活動団体のご紹介  
・函館ギター協会 ・プロトスター ..... P5
- クーポラ便り／配布先・問い合わせ先 ..... P6
- INFO&TOPICS ..... P7

まちづくり、市民活動、各種助成金、  
移住・定住に関する問い合わせなど、  
お気軽にご相談ください。

11 住み続けられる  
まちづくりを



17 パートナリシップで  
目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

●まちづくりセンターで行われている講座案内や市民活動団体などの詳細は、ブログやホームページをご覧ください。

発行／函館市地域交流まちづくりセンター

<https://hakomachi.com>



# 第18回 NPOまつり 開催報告

2022年9月10日(土)  
函館市地域交流まちづくりセンター  
主催にて第18回NPOまつりを  
開催いたしました。



まちづくりセンター会場とオンライン生配信のフォーラムを開催しました。

テーマは函館・道南の『食とコミュニティ』。

ゲスト3名のみなさん(中森 司さん・高野 信子さん・筒井 章順さん)には会場にお越しいただきました。

札幌と帯広の2拠点で活動をしているスペシャルゲストの井田 芙美子さんは、

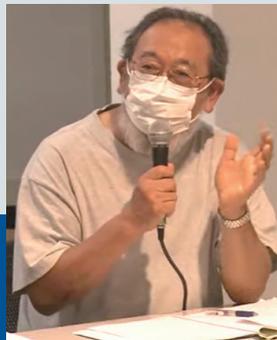
今回は札幌からオンラインでご参加いただきました。

これまでの活動をふりかえっていただき、コロナ禍でできることを共有しました。



函館・道南で社会的支援を必要とする人や団体(こども食堂やNPOなど)へ食料提供を行うフードバンク事業を推進するため、幅広く食材の提供や寄付などの支援活動をされています。

コロナ禍で困窮者が増えている。  
具体的な物資として、  
「お米、缶詰、乾麺などがほしい」



中森 司さん  
フードバンク道南協議会  
事務局長

「函館海鮮居酒屋 魚まさ 五稜郭総本店」では地元生産者の新鮮な食材や優れた加工品を積極的にメニューに取り入れています。お店を開けられず困っている飲食店とテイクアウトで飲食店を支援したい人とを結びつける「#函館テイクアウト」を考案。

SNSで『空中コミュニティ』の活用を呼びかけると  
多くの支援の輪が広がっていきました。



高野 信子さん  
株式会社  
函館フーズプランニング代表



『ほとけさまに、ご先祖様に、色々な人に、会いにいけるお寺』をコンセプトに掲げ、湯の川エリアで活動の輪を広げ、街と人とを結ぶ場を作る【結-Yui-プロジェクト】食のイベント『カレー寺』『ホトケーキ』の開催など、常に新たな手法にチャレンジされています。

「伝え方がイマ風なだけで、  
(湯川寺が)やっていることは今も昔も変わらない」と  
情報発信ではSNSを積極的に活用。



筒井章順さん  
湯川寺(とうがわじ)の副住職

オンラインで札幌からご参加 スペシャルゲスト

十勝の生産現場を見学できる「畑ガイド(日本初)」消費者と生産者をつなぐ「農村ツーリズムコンサルタント」としてコロナ禍以前は年間約2,000名もの国内外観光客を受け入れてきました。

緊急事態宣言で観光客の受け入れが難しくなると  
すぐさま教育旅行の受け入れ、オンラインファーム  
ツアーなどの新規事業をたちあげました。



井田芙美子さん  
株式会社ただだきますカンパニーの代表取締役

参加されたみなさまからの感想

飲食業やフードドライブに関して今までほとんど知らなかったのが勉強になりました。

人と人とのつながりのヒントが沢山あった。現在活動している方々のお話はとても力強く元気をいただいた。

それぞれのパネリストの皆さんの活動が素晴らしかったです。今回のテーマ「食とコミュニティ」もとっても良かったです。函館の未来を感じました。充実した内容でした。

奥の深いテーマでしたね。リモートでも参加できて井田さんを知って良かったです。今日は他の催しもあって、つれてきたい人がこれなかったのが残念です。



NPOまつり開催などの詳細はこちら▶



まちづくりセンター Youtubeチャンネルにて期間限定公開中▶



# はこまち通信クーポン”2022移住増刊号”の発行を記念して、7月～9月にかけて、 #はこだて暮らし をキーワードに 全4回のオンライン移住セミナーを開催しました。

移住希望者が聞きたい!知りたいたい!をテーマに開催しました。函館で活動している方をお招きし、テーマに沿ってお話いただきました。多くの方にご参加いただき、函館移住への関心度の高さを実感しています。  
移住への第一歩として、ご参考にしてください。



## 体験談

函館市榎法華支所 西川さん



アクセス：車で1時間  
(約50km)  
人 口：約800人  
コンビニ：地域内なし  
(約10km先)  
飲食店：1軒のみ  
(小さい商店2軒)

実際に移住するきっかけや、移住を決断するまで、さらに現在の#はこだて暮らし についても色々お話いただきました。  
ご自身のUターン体験談とともに、榎法華エリアの魅力(恵山岬灯台や水無海浜温泉など)もたっぷりとお話いただきました。

## 住まい

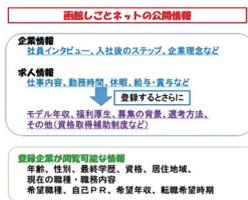
蒲生商事 谷口さん



函館山の麓、西部地区を中心とした函館ならではの住まいの特徴をお話いただきました。明治・大正・昭和初期の函館は、大火をどのように乗り越えたのかなど西部地区で見られる耐火構造の建築物や、時代を経て近年生まれ変わった建物など「住まい」から紐解くまちづくりをご紹介します。

## 仕事

函館市経済部 前田さん



函館の仕事の種類やジャンル、企業の規模、函館の仕事に関するポータルサイト「函館しごとネット」の活用方法や掲載企業のことなど、移住者が仕事を探す際に参考になるお話をご紹介します。「函館しごとネット」はスマホにも対応しています。現在の掲載企業は197社。今後も企業との連携を増やしていくというお話です。ご期待ください。

## 子育て

ままっち!編集部 谷間さん



ママ目線で子ども中心の生活、子どもと共に過ごしたいところ(緑の島や市内の公園や遊園地など)、函館の七夕は非日常体験!冬の暮らしや食、教育、子育てをされていて感じることをご紹介いただきました。また、函館・近郊の子育て世代向けイベント情報満載のウェブサイト『ままっち!』についてもご紹介いただきました。

函館の人に聞いてみよう!と題し、函館で活躍しているみなさんから情報をお伝えいただきました!今後も移住サポートセンターでは、移住希望者や移住者が函館での暮らしが実現できるよう、様々な団体と連携してサポートしていきます。セミナー開催などの報告はこちら▶





## 函館・道南の市民活動団体トピックス

私もやってみたい!  
一緒に応援しませんか?

函館・道南で活動する市民活動団体の最新情報をお届けします。広報誌クーボラ掲載希望の団体も随時募集中!  
まちづくりや市民活動に興味をお持ちの方はまちセンまで。もしくは直接、それぞれの市民活動団体までお問い合わせを。

- ✿ 団体の会員になって共に活動したい方
- ✿ ボランティア活動に興味がある学生の方や一般の方
- ✿ 団体の活動を物資や資金面で支援したい方
- ✿ 市民活動団体と協働で取り組みたい方
- ✿ 地域を支える人を取材したい学生・メディアの方

### 函館ギター協会

平成元年の設立以来、クラシックギターの普及をメインに活動しています。クラシックと言うと難しそうですが、様々なジャンルの音楽をギターで楽しむこと、参加することを特に推進しています。活動の一環として、定期的なコンサート、もみじフェスタ、ボランティア団体、各施設のイベントの参加など幅広い活動を行っています。来春には、まちづくりセンターでのミニライブも計画中。ギターを楽しみたい方はご一報を!

ギターコンサートの様子(まちづくりセンターにて)▶

### ギターの音の魅力を知って!



▲団体HPはこちら

### プロトスター

4月に活動を開始した当団体は20代の団員を中心に、朗読とドラマリーディング(朗読劇)の練習をしています。

11月26日には、まちづくりセンターで旗揚げ公演を開催。函館出身の亀井 勝一郎など8人の作家の作品を読み上げ、お客様にお楽しみいただきました。団員募集中です。

朗読の楽しさを伝えた公演の様子▶

### きらめく文学の世界をお届け!



▲団体HPはこちら

飛び出せ まちセン!

～団体訪問はじめました～

まちセンスタッフがみなさんの活動場所や事務所等を訪問します。活動の悩み・PRや広報・感染症対策・新たな取り組みなど、お気軽にご相談ください。

制限がある今だからこそ、  
地域には NPO・市民活動団体の  
活動が必要です。



最大限の対策を  
行って

緊急時には  
柔軟に判断して

活動を止めない



市民活動団体の  
みなさん!

函館道南のNPO・市民活動をサポートする地域交流まちづくりセンターにご相談ください

### 北海道の市民活動の継続に向けて

北海道内中間支援組織「コロナアクション」  
2021年8月11日付の関連ページはこちら▶



新型コロナウイルス感染症対策活動団体  
支援協議会

こちら▶

<https://covid-19.npoproject.hokkaido.jp/>





函館市への移住相談窓口 移住サポートセンターが主催する  
移住者と市民の集い「まちセンカフェ&オンライン」を毎月、開催しています。

「まちセンカフェ&オンライン」は、オンラインの特性をいかして、移住に関する不安、抱えている疑問などの情報交換や交流をはかろうという会です。

全国各地から参加されるみなさまと函館をつなぎ「#はこだて暮らし」をキーワードに情報交換をしています。

函館をこれから知ろう!という方や、移住に向けて具体的に準備を進めている方も大歓迎です。みなさまのご参加をお待ちしております!

「まちセンカフェ&オンライン」の開催案内は、ホームページをご覧ください。か、移住サポートセンターにお問い合わせください。



▲オンライン会議アプリ「Zoom」にて交流中



移住サポートセンター  
(函館市地域交流まちづくりセンター内) ▶

## 配布先・問い合わせ先

『はこまち通信クーポラ』2023年1月 vol.63

- 発行/ 函館市地域交流まちづくりセンター
- 住所/〒040-0053 北海道函館市末広町4-19
- TEL/ 0138-22-9700
- FAX/ 0138-22-9800
- 開館/ 9:00~21:00
- 休館日/ 12月30日~1月3日



<https://hakomachi.com>

このほか器材点検のため月1回程度、臨時休館する場合があります。  
詳しくはセンター内やWebでお知らせしています。

建物裏手に駐車場あり。  
2時間まで無料。

指定管理者/  
NPOサポートはこだてグループ  
(2007年4月~)

函館市地域交流  
まちづくりセンター

## 『はこまち通信クーポラ』編集室だより

第18回NPOまつりは、オンライン配信と会場参加のハイブリッド開催にチャレンジしました。まちづくりセンターは今年も新たな試みを通して、市民活動団体の声を聞き、ニーズに応えられるよう活動していきます。

(編集長/谷口 真貴)

### ●主な配布先(敬称略)

函館市役所1F/ 亀田支所/ 湯川支所/ 銭亀沢支所/ 戸井支所/ 恵山支所/ 榎法華支所/ 南茅部支所/ 函館市中央図書館/ 渡島総合振興局/ 函館市企業局アクロス十字街/ 総合保健センター/ 函館市民会館/ 函館アリーナ/ 函館市女性センター/ 函館市青年センター/ 函館市公民館/ 函館コミュニティプラザGスクエア/ 函館市青少年研修センターふるる函館/ 中島れんぱいふれあいセンター/ 函館市総合福祉センターあいよる21/ 函館市勤労者総合福祉センターサン・リフレ函館/ 亀田交流プラザ/ どさんこ交流テラス(東京 有楽町)

『はこまち通信クーポラ』に関するご意見、ご感想をお寄せください。HPにメールフォームがございます。

次号は3月31日発行予定です(年4回)



※月に一度平日開催

## サロン 市民と移住者の集い まちセン茶論

「はこだて暮らし」をキーワードに参加者が交流を図ったり情報交換する場所としてお気軽にご利用ください。移住を検討している方の参加も大歓迎です。参加無料、申し込み不要です。

【今後の予定】

- 1月10日(火)
- 2月14日(火)
- 3月14日(火)
- 時間/13:30~14:30



▲函館での活動や暮らしのヒントがここにあるかも!



2022年9月12日(月)

## 「風水害」避難ワークショップ体験会

8月上旬に函館に記録的な大雨が降り、災害への備えをどうするか! 昨年に続き、ワークショップデザインdescribe with代表の高橋 優介さんを講師にお招きし、体験会を開催しました。行政や学校関係者、企業の方などが参加され、函館や道南で防災に関する意識が向上しました。体験会で学んだことをグループでふりかえり、今できること、準備することを共有しました。



▲刻一刻と変わる状況で、いかに避難するのか?を体験しました

2022年10月27日(木)

## オンライン配信のための勉強会

コロナ禍で、オンラインでの講座開催や情報発信が必要不可欠になり、思いを形にしたり、参加者にどのように伝えるか、オンラインの特性をいかすための技術やノウハウを共有することを目的に開催しました。市民活動団体、町内会関係者らが参加しました。



▲オンライン配信が身近になり、主催者としての心構えも紹介

## 「はこまち通信クーポラ」のクーポラとは?

教会などの屋根上部に取り付けられた半球型の構造物を指します。1923(大正12)年に建てられた旧丸井今井呉服店函館支店をリノベーションし2007年にオープンした地域交流まちづくりセンター。その外観を印象づける『クーポラ』を、広報誌名でも使用しています。





## 2023年のまちづくりセンター

みなさん、明けましておめでとうございます。  
本年も、よろしくお願いいたします。

2023年がスタートです。2022年に起こったことの多くが“思いもしなかったこと”だったように、今年もまた、多くの“思いもしなかったこと”が起こることは間違いありません。良いことばかりならば嬉しいのですが、当然ですがそうはならないと思われま

す。できれば起こってほしくないけど起こる可能性があるものもあります。自然災害がその最たるもので、地震や津波、大雨や大雪等への準備は欠かせません。

**まち**づくりセンターは「中間支援センター」という機能を持っています。「中間支援センター」は、市民やNPO・行政・企業・教育機関など様々な立場に対して中立的な立場にたちながら、その間にたち、つながりをつくり、活動を支援していくことが役割です。「2歩先を読みながら、1歩先の行動をできるようにする」というスキルが求められています。これに応えるために必要なことも準備だと言われます。

**私**達が直面している課題は多岐に渡っています。それらの課題を市民が主役となって解決していくための支援が「私達の使命」です。達成するために必要なことは、やはり入念な準備です。

**サ**ッカーワールドカップ日本代表チームは、「最後まであきらめないことと、それを可能にするための準備の大切さ」を教えてくれました。選手からは、これらをさらに強化していくためには、“個々の力をよりレベルアップしていくことが必要だ”との声があがりました。

まちづくりセンターも全く同じだと強く感じています。

2023年のまちづくりセンターは、個々のレベルアップをしていきながら、入念な準備を強め、ご利用していただく皆様のご期待にお応えできるようにしていきたいと思

います。それを可能にするのは、皆様からのご指導やご協力があつてこそ。

2023年もよろしくお願いいたします。

### 1F 福祉の店 どんぐり 2号店

- 営業時間 / 10:00~15:00
- 定休日 / 土日祝日・施設休館日
- 授産製品を扱っています。

函館みやげにオススメのクッキーをはじめ、布バッグや布ぞうりなどのハンドメイド雑貨も豊富です。

**【オススメ】 土偶クッキー 800円**  
(2枚×6袋入 税込)

北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録でますます人気が高まっています。



### 1F 喫茶コーナー Cafe DripDrop

- 営業時間 / 10:00~17:00 (変更の場合あり)
- 定休日 / 水曜日・施設休館日
- 自家焙煎、ハンドドリップのコーヒーで一息つきませんか?
- 営業時間など最新情報は

お店のSNSをご覧ください▶



**【オススメ】 ランチプレート 800円 (税込)**

トーストに七飯・ななエッグのゆで玉子、ウィンナー、季節の野菜サラダ、スープのセットです。  
食後のお飲みもの付き。



[喫茶・ショップお問合せ先] 電話 0138-22-9700 函館市地域交流まちづくりセンター

